

特集：生殖補助医療における精子処理の基礎と実際

最近2回の特集では、着床前診断についてディベート形式の総説そしてラボワークのコツをお届けしました。今回は精子に目を移し、最新の精子運動メカニズムの知見を梅原先生に解説していただき、データに基づいた精液処理の工夫と実際を胚培養士として経験豊富な秋葉先生と湯本先生に、さらに最近話題の非遠心型精子処理デバイスについて辻先生にご執筆いただきました。コロナ禍にて、採精室が使用できないため精液採取から処理までに時間がかかるなど、これまでにない問題にも直面する昨今ですが、日常臨床に明日から取り入れたい知見が盛りだくさんです。また基礎・臨床研究に役立てていただける特集となっております。

JMORは日本語を主体とし、日々の研究、臨床の助けとなる原著論文や特集をお届けしております。特集のご希望がございましたら、ぜひ編集委員へご一報ください。会員の皆様と一緒に魅力ある機関誌を作っていきたいと思っております。

日本卵子学会編集委員会
大津英子